【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-166183(P2019-166183A)
【公開日】令和1年10月3日(2019.10.3)
【年通号数】公開・登録公報2019-040
【出願番号】特願2018-57438(P2018-57438)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月21日(2021.5.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
遊技を制御する遊技制御手段と、
設定値を設定するための設定許可状態に制御可能な設定手段と、
前記遊技制御手段により制御され、複数の発光態様により可変表示の表示結果を示す複数の発光手段と、
特定表示を表示可能な特定表示手段と、
前記特定表示手段によって表示された特定表示に関連して特定演出を実行可能な特定演出手段と、
を備え、
前記複数の発光手段は、
停電復旧がされた場合、該停電復旧前に示していた可変表示の表示結果を示す発光態様となり、
前記設定許可状態において通常遊技中に用いられない発光態様となり、該設定許可状態の終了後において前記停電復旧後に示される可変表示の表示結果と共通の内容を示す発光態様となり、
前記特定演出手段は、第１演出手段と第２演出手段とを含み、
前記有利状態に制御される割合に応じて、前記特定演出として、前記第１演出手段を用いる第１特定演出と、前記第２演出手段を用いる第２特定演出と、のうち何れかを実行可能であり、
一の特定表示に関連して前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち一方を用いる前記特定演出が実行されている場合、他の特定表示に関連して前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち他方を用いる前記特定演出が実行されることを制限する、
ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【０００２】
特許文献１に示すように、保留表示の表示態様が変化した場合に、該変化した表示態様に対応した色でランプを発光させることにより報知を行う遊技機が提案されている。また、特許文献２に示すように、設定変更処理を行ったときに、設定値以外の記憶内容をクリアする遊技機が提案されている。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１６－４３０９９号公報
【特許文献２】特開２０１０－２００９０２号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
特許文献１および特許文献２の双方の機能や構成を有する遊技機の商品性を高める余地があった。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、商品性を高めた遊技機を提供することにある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
（１）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、
可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１）であって、
遊技を制御する遊技制御手段（例えば遊技の進行を制御する処理を行うＣＰＵ１０３）と、
設定値（例えば設定値１～３のいずれか）を設定するための設定許可状態に制御可能な設定手段（例えば設定変更処理を実行するＣＰＵ１０３）と、
前記遊技制御手段により制御され、複数の発光態様により可変表示の表示結果を示す複数の発光手段（例えば情報表示装置１０９ＡＫ００１を構成する第１特別図柄表示装置１０９ＡＫ４Ａ、第２特別図柄表示装置１０９ＡＫ４Ｂなどの複数のＬＥＤ）と、
特定表示（例えば保留表示など）を表示可能な特定表示手段（例えばステップＳ１６１の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０）と、
前記特定表示手段によって表示された特定表示に関連して特定演出を実行可能な特定演出手段（例えばステップ００３ＡＫＳ２０３の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、

を備え、
前記複数の発光手段は、
停電復旧がされた場合、該停電復旧前に示していた可変表示の表示結果を示す発光態様となり（例えば図１１－３、図１１－４）、
前記設定許可状態において通常遊技中に用いられない発光態様となり（例えば図１１－６（Ｃ））、該設定許可状態の終了後において前記停電復旧後に示される可変表示の表示結果と共通の内容を示す発光態様となり（例えば図１１－６（Ｄ））、
前記特定演出手段は、第１演出手段（例えば第１発光部００３ＡＫＣ１）と第２演出手段（例えば第２発光部００３ＡＫＣ２）とを含み、
前記有利状態に制御される割合に応じて、前記特定演出として、前記第１演出手段を用いる第１特定演出（例えば第１演出態様の特定演出）と、前記第２演出手段を用いる第２特定演出（例えば第２演出態様の特定演出）と、のうち何れかを実行可能であり、
一の特定表示に関連して前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち一方を用いる前記特定演出が実行されている場合、他の特定表示に関連して前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち他方を用いる前記特定演出が実行されることを制限する（例えば図８－１１に示す特定演出決定処理において特定演出を実行中であると判定された場合には（ステップ００３ＡＫＳ４０２；Ｙｅｓ）、特定演出決定処理を終了する）、
ことを特徴とする。
また、上記目的を達成するため、他の遊技機は
遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当り遊技状態など）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機１など）であって、
特定表示（例えば保留表示など）を表示可能な特定表示手段（例えばステップＳ１６１の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、
前記特定表示手段によって表示された前記特定表示に関連して特定演出を実行可能な特定演出手段（例えばステップ００３ＡＫＳ２０３の処理を実行する演出制御用ＣＰＵ１２０など）と、
を備え、
前記特定演出手段は、第１演出手段（例えば第１発光部００３ＡＫＣ１など）と第２演出手段（例えば第２発光部００３ＡＫＣ２など）とを含み、
前記有利状態に制御される割合に応じて、前記特定演出として、前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち前記第１演出手段のみを用いる第１特定演出（例えば第１演出態様の特定演出など）と、前記第１演出手段と前記第２演出手段とのうち前記第２演出手段のみを用いる第２特定演出（例えば第２演出態様の特定演出など）と、前記第１演出手段と前記第２演出手段とを両方用いる第３特定演出（例えば第３演出態様の特定演出など）と、のうち何れかを実行可能であり、
一の前記特定表示に関連した前記特定演出として、前記第１特定演出と前記第２特定演出とのうち何れか一方を実行しているときには、他の前記特定表示に関連した前記特定演出として、前記第１特定演出と前記第２特定演出とのうち他方を実行することを制限する（例えば図８－１１に示す特定演出決定処理において特定演出を実行中であると判定された場合には（ステップ００３ＡＫＳ４０２；Ｙｅｓ）、特定演出決定処理を終了する）、
ことを特徴とする。
このような構成によれば、特定演出が何れの特定表示に関連しているかを遊技者が誤認して遊技興趣が低下することを抑制できる。